

# 上士幌町における自動運転バスの視察

# ◆ 上士幌町における自動運転バスの概要①

## ● 自動運転バス導入の経緯・目的

人口減少などを背景に既存の公共交通の維持が難しくなる中、誰もが利用できる定時・定路線の町内循環バスとして自動運転バスを運行することで、高齢者などの住民の外出機会の創出や利便性の向上を目的とする。

## ● 自動運転バス実証実験の実績

実施時期	内容
平成29年10月	北海道初となる公道での自動運転バス実証実験
平成30年10月	自動運転バス実証実験と住民試乗
令和元年10月	日本初の公道における貨客混載での自動運転バス実証実験
令和3年12月	冬季間の公道における自動運転バス実証実験
令和4年12月	自動運転レベル4の社会実装に向け、地元交通事業者による長期自動運転実証
令和5年2月	2月27日までの期間であったが、長期自動運転実証の延長が決定
令和5年6月	西団地・北団地循環線の追加運行が開始（道の駅循環線と合わせ、2路線の運行）

# ◆ 上士幌町における自動運転バスの概要②

## ● 車両の仕様

車種 : ナビヤ アルマ  
 定員 : 8名  
 運行速度 : 20km/h

## ● 自動運転レベル レベル2相当



## 参考

レベル	内容	機能詳細	監視種別
レベル1	運転支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動ブレーキ</li> <li>・自動追従機能等</li> </ul>	人
レベル2	特定条件下での自動運転機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車線を維持しながら前のクルマに付いて走る</li> <li>・高速道路での自動運転モード機能</li> </ul>	人
レベル3	条件付自動運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムが全ての運転タスクを実施するが、システムの介入要求等に対してドライバーが適切に対応することが必要</li> </ul>	システム
レベル4	特定条件下における完全自動運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定条件下においてシステムが全ての運転タスクを実施</li> </ul>	システム
レベル5	完全自動運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常にシステムが全ての運転タスクを実施</li> </ul>	システム

# ◆ 上士幌町における自動運転バスの概要③

- 路線図  
道の駅循環線・西団地・北団地循環線の2路線の運行



# ◆ 上士幌町における自動運転バスの概要④

## ● 時刻表

運行日: 月・木・土曜日

※土曜日の運行については、道の駅循環線のみ運行

月曜日・木曜日

土曜日

バス停	午前				午後			
	1便 西団地・北団 地循環線	2便 道の駅循環線	3便 道の駅循環線	4便 西団地・北団 地循環線	1便 西団地・北団 地循環線	2便 道の駅循環線	3便 道の駅循環線	4便 西団地・北団 地循環線
①交通ターミナル	9:30	10:05	10:45	11:15	13:00	13:35	14:15	14:45
②ふれあいプラザ前	9:32	10:07	10:47	11:17	13:02	13:37	14:17	14:47
③スポーツセンター前	9:34	10:09	10:49	11:19	13:04	13:39	14:19	14:49
④上士幌クリニック前	9:36	10:11	10:51	11:21	13:06	13:41	14:21	14:51
⑤かちまい上士幌前	9:40	10:15	10:55	11:25	13:10	13:45	14:25	14:55
⑥カミシホロホテル前	-	10:17	10:57	-	-	13:47	14:27	-
⑦十勝しんくみ前	-	10:19	10:59	-	-	13:49	14:29	-
⑧福本太陽堂薬品前	-	10:21	11:01	-	-	13:51	14:31	-
⑨2区信号交差点南側	-	10:23	11:03	-	-	13:53	14:33	-
⑩につぼうの家東側	-	10:25	11:05	-	-	13:55	14:35	-
⑪道の駅かみしほろ前	-	10:28	11:08	-	-	13:58	14:38	-
⑫十勝養蜂園前	-	10:32	11:12	-	-	14:02	14:42	-
⑬小学校東側	9:45	-	-	11:30	13:15	-	-	15:00
⑭西部地区リサイクルセンター前	9:48	-	-	11:33	13:18	-	-	15:03
⑮北団地看板前	9:54	-	-	11:39	13:24	-	-	15:09
⑯ゲートボール場前	9:56	-	-	11:41	13:26	-	-	15:11
⑰カミシホロホテル前	10:00	-	-	11:45	13:30	-	-	15:15
⑱生涯学習センター南口	10:02	-	-	11:47	13:32	-	-	15:17
①交通ターミナル(終点)		10:35		11:50		14:05		15:20

バス停	午前			午後		
	1便 道の駅循環線	2便 道の駅循環線	3便 道の駅循環線	4便 道の駅循環線	5便 道の駅循環線	6便 道の駅循環線
①交通ターミナル	10:30	11:00	11:30	13:30	14:00	14:30
②ふれあいプラザ前	10:32	11:02	11:32	13:32	14:02	14:32
③スポーツセンター前	10:34	11:04	11:34	13:34	14:04	14:34
④上士幌クリニック前	10:36	11:06	11:36	13:36	14:06	14:36
⑤かちまい上士幌前	10:40	11:10	11:40	13:40	14:10	14:40
⑥カミシホロホテル前	10:42	11:12	11:42	13:42	14:12	14:42
⑦十勝しんくみ前	10:44	11:14	11:44	13:44	14:14	14:44
⑧福本太陽堂薬品前	10:46	11:16	11:46	13:46	14:16	14:46
⑨2区信号交差点南側	10:48	11:18	11:48	13:48	14:18	14:48
⑩につぼうの家東側	10:50	11:20	11:50	13:50	14:20	14:50
⑪道の駅かみしほろ前	10:53	11:23	11:53	13:53	14:23	14:53
⑫十勝養蜂園前	10:57	11:27	11:57	13:57	14:27	14:57
①交通ターミナル(終点)			12:00			15:00

# ◆ 上士幌町における自動運転バスの視察について

## 【目的】

視察には、協議会委員の中から数名にご参加いただき、実際に自動運転車両に乗車体験も行いつつ、担当者に話を伺うことにより、自動運転バスの知識を深め、将来の公共交通のあり方について考えることを目的とする。

## ● 日時

令和5年10月17日（火） 9：00～18：00

## ● 内容

- ・自動運転の取り組み
- ・車両・自動運転技術説明
- ・自動運転バス試乗
- ・質疑応答・意見交換

## ● 募集人数

6名（協議会委員より）

※当日は事務局も同行し、公用車で向かいます。

## ● スケジュール（予定）



※ 昼食等の飲食については、自費

# 上士幌町の自動運転バス、運転者乗車せずに走行へ 今冬にも一部区間で

会員限定記事

2023年9月8日 18:42(9月9日 17:19更新)

あとで読む



上士幌町内で運行する自動運転バス= 22年12月 (加藤哲朗撮影)



上士幌町

【上士幌】十勝管内上士幌町は今冬にも、市街地で定期運行中の自動運転バスについて、遠隔監視などの条件下で運転者が乗車しなくても走ることができる「レベル4」に引き上げる。まずは一部区間で始め、安全を確認して対象区間を拡大する方針。現在は運転者が同乗し、緊急時などに手動に切り替える「レベル2」だが、人手不足が深刻さを増す中、より完全に近い自動運転の早期導入を目指し、年内に国土交通省に実施を申請する。同省によると、公道でレベル4が実現すれば道内初となる。

同町の自動運転バスは2022年12月、1路線約3・5キロのルートで定期運行を始めた。最高時速は20キロ。委託先のタクシー会社の運転手がオペレーターとして同乗し、路上の車を避ける時や信号機のある交差点では手動操作している。現在は2路線計7・5キロに増え、週3日、計22便を運行。今年8月末までに延べ1198人が利用した。

レベル4は今年4月に改正道路交通法が施行されて解禁。5月には福井県永平寺町で全国初の一般向け運行が始まっている。遠隔監視で特定のルートに限定することが条件で、上士幌町も「道の駅循環線」の一部でレベル4を導入し、安全性を検証することにした。

上士幌での当面の対象区間は、信号機がなく交通量が少ない町道の数百メートル程度を想定。レベル2の区間からオペレーターは乗車したままになるが、操作は行わず、自動運転システムによる運行に切り替える。町役場に隣接する交通ターミナルに遠隔監視センターを設け、運行状況をモニターで把握する。

本格導入時は信号機と車両との円滑な連動が鍵を握る。このためレベル2の区間で、信号機に設置した機器と車両の通信状態を確認する実証実験も行う。検証を経て、来年度には同路線の全区間をレベル4で運行したい考えだ。

車両はこれまで通り、町が所有するフランス製の電気自動車（EV）「ナビヤ アルマ」（定員11人）を使う。国交省の実証事業の位置づけで、関連事業費1億8千万円は国が全額負担する。上士幌町デジタル推進課は「公共交通を担う運転手が減る中、自動運転の役割は大きい。上士幌の知見を、全国で広く生かしてもらえれば」と話している。（高橋広椰）